

ひびき

発行・編集責任者／取手市議会議長 佐藤 清
 発行／取手市議会 編集／取手市議会事務局
 〒302-8585 茨城県取手市寺田5139
 電話番号 0297-74-2141(内線1801・1802)
 ファクス 0297-74-1990
 ホームページアドレス <http://www.city.toride.ibaraki.jp/>
 e-mailアドレス gikai@city.toride.ibaraki.jp

取手市議会だより第217号
 2016(平成28)年10月15日発行

<紙面から>

第3回定例会が、9月1日から21日まで開催されました。この9月の定例会では、前年度の決算を審査し、認定しました。決算の審査には、8人からなる特別委員会が設置され、3日間審査を行いました。決算を議題とした本会議では、取手独自で認めている3回までの討論が行われ、活発な意見が交わされました。また、9月28日には市議会による、初の災害招集訓練を行いました。大地震など災害時の議会としての動きを確認し、今後の課題に生かすものです。その時の様子をお伝えします。

大地震想定 招集訓練



正副議長と、各会派長からなる市議会災害対策会議を、訓練上で初設置しました

**初実施で課題共有
 連絡方法、情報整理など**

市議会初の試みとして9月28日(水)、大地震を想定した議会災害招集訓練を実施しました。車は走行不能との前提で、議員は徒歩や自転車などで集まり、災害時の対応手順などを確認しました。自宅からの登庁手段、連絡方法、集まる情報の整理など、実際に訓練を通して確認することで、多くの課題を確認、共有。今後の活動につなげます。

招集訓練は、9月28日午前6時20分に茨城県南部を震源とする地震が発生、市内で震度7を観測したという前提で行いました。

午前7時24分、佐藤清議長は市議会災害対応規程に基づき、議員の各会派長からなる市議会災害対策会議を設置。電話の通話困難を想定して、全議員への連絡は携帯電話等への電子メールにて行いました。5会派の代表をまず参集し、対策会議を開くまでを確認しました。この時点で、議員との連絡が思うように取れない場合や、人が集まらない場合の対応など、課題が見つかりました。

参集後は係ごとに業務点検

議会災害対策会議を設置した後、被害が大きいたして、他の議員も招集しました。車以外の方法で登庁を指定し、自転車でも1時間かかった議員もいました。議員は到着後順番に、議員の安否確認や、情報整理、調査などの班に分かれ、情報整理の流れや、動きを確認。どのような課題があるかを



寄せられた被害情報を整理しました

さらなる想定訓練実施へ

災害想定訓練や外部講師で

市議会では、今回の災害招集訓練のほかに、災害発生時の対応イメージをゲームにした訓練(DIG)を、議員研修として11月に行う予定です。これは防災士の資格を取得している議員が講師役となって、他の議員向けに図上で対応訓練を行います。

また、龍ヶ崎市の防災管理監を招き、龍ヶ崎の状況等の講話を頂いて、取手の参考となる事項の研修をする予定です。



確認しながら進めました。想定された被害情報を集めて整理する情報整理の係からは▼寄せられる情報がない▼地図上に情報を落とすのに工夫が必要▼登庁する際にも、情報の収集を――などの意見が挙がりました。東日本大震災後、市議会では災害時の対応規程を定めました。市としては震度6弱以上のときは災害対策本部が設置されます。この市本部の設置後に、議会

としての対応が必要な場合に、市議会対策会議を設置することになっていきます。今回の訓練では、平時でも全員と連絡を取ることがスムーズにはいきませんでした。これを受け、これまで対策会議が議員を招集するか、甚大な被害があるとき、としていた参集基準を「震度6弱以上のときは参集する」と改めることにするなど、今後に向けた改善策を話し合いました。



訓練を通して見つかった課題を話し合いました